

南翔

秋田県立秋田南高等学校同窓会会報
「南翔」第55号

題字揮毫

鈴木 義信 氏(4期・東京支部 書道家)



熊谷校長あいさつ



受付風景



司会進行



中沢先生あいさつ



校歌齊唱



小林実行委員長乾杯

第4回南翔の集いより 8月20日 秋田ビューホテル

写真提供 岩田写真
岩田 幸久 (21期生)

「同窓会長就任ご挨拶



秋田南高校同窓会【南翔】会員皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平成23年度同窓会総会(6月18日開催)におきまして第九代目の会長として選任され就任致しました。

また、第1期生としては三人目の会長であります。

3期山岡氏、6期石塚氏、9期加藤氏、17期江畠氏の4名の副会長ともども新任でありますので会員各位からのご協力とご支援を頂戴し、同窓会活動に努めて参りますので宜しくお願い申し上げます。

さて、母校は来年度に「創立50周年」という大きな節目を迎えることとなりました。

わが同窓会は、47年目に入り現在までに19,600名を擁する組織となり、会員は秋田県内はじめ全国、世界へと活躍の場を拡げております。昨年度より「秋田県立秋田南高等学校創立50周年記念事業実行委員会」を立ち上げ同窓会、教育振興会、PTA、学校が一体となって母校の半世紀の歴史と意義を内外に発信し、生徒の母校愛を育み、そして地域に開かれた学校づくりの一環と捉え各種の記念事業を展開して行く準備をしております。同窓会員各位におかれましては、この記念すべき事業に立ち会える歓びと感動を体現出来るよう記念式典をはじめとしてご参加願い、その趣旨に賛同頂き格別のご協力を会長としてお願いを申し上げる次第です。

秋田県立秋田南高等学校同窓会
会長 菅原 鎧(1期生)

思い起こしますと我々第1期生は、昭和37年4月13日秋田県民会館において母校の開校式、続いて秋田駅前の旧秋高校舎にて第1回入学式を行いました。

430名の生徒が県民の期待に包まれて希望に胸を膨らませたものでした。

初代校長である信太四郎先生は、我々に福沢諭吉翁の精神である「独立自尊」を諭し青年の夢を育てる、生涯の宝になるよう立派な友を養って欲しいと述べられました。

1期生は、卒業後の大学でも、社会生活、会社組織でも高校の「先輩」を頼らず生き抜いてきたことは、在校3年間で心身に染み込んだ教えの賜物と半世紀後も感謝している次第です。

再度申し上げますが、母校50周年記念事業を100周年へのスタートと位置づけ、生徒が活き活きと自信を持って成長出来るため、卒業生が南高校に掛ける意気、思いやり、感謝を込めて事業必達するよう最大限の協力をして参りましょう。

会長プロフィール

出身地	秋田市	生年	昭和21年6月
昭和40年	秋田南高校第1期卒		
昭和44年	日本大・経済卒		
昭和44年	㈱羽後銀行入行		
平成4年	同 事務部長		
平成8年	㈱北都銀行 取締役東京支店長		
平成15年	代表取締役専務		
平成20年	現㈱北都情報システムズ 代表取締役社長		

第4回南翔の集い

第4回「南翔の集い」が8月20日、秋田ビューホテルで開催され、熊谷暁現校長をはじめ9名の御来賓及び同窓会員145名が出席した。

懇親会に先立ち物故者への黙祷を捧げた後、菅原晟同窓会長（1期）が、「我々同窓生は優秀な先生方に、『独立自尊の精神』を育んでいただいた。来年は母校創立50周年の節目であり、同窓生は、恩返しの意味でも、関係事業への協力を惜しんではならない。そして、次の50年の母校の歴史づくりに、同窓会としてさらに結束して参りたい」と力強く挨拶した。

続いて、熊谷暁現校長から、母校の近況が報告され、「北東北インターハイ」では運動部とともに、裏方としても大活躍をしてくれたとし、「本校生徒はどこへ出しても恥ずかしくない」とそれぞれの役回りをそつなくこなす在校生を紹介するとともに、「残るは野球部。野球部については、50周年の年に是非甲子園へ」との意気込みを語ってくれた。

さらに、来賓・恩師の紹介と続き、今回の実行委員長である小林治男氏（4期）の「楽しくやりましょう」の発声により各テーブルで乾杯が行われ、いよいよ懇親会がスタートした。

各テーブルは、同期生らが隣り合えるように席が割り振られており、久々の再会を喜び、昔話や近況を語



会長あいさつ

り合っていた。また、在校時代の恩師や先輩の顔を見つけ、照れくさそうに、あるいは、恐縮しながら、互いにグラスを傾け合っている光景が数多く見られた。こうした中、壇上では、創部以来初の全国インターハイ出場を勝ち取ったサッカー部、現在剣道部監督で今年8段に昇段した湯澤寛先生、そして、名門プラスバンド部のDVDが上映され、歓談を止めて映像に見入り、美しい音色に耳を傾ける多くの出席者の姿があった。

特にインパクトが強かったのがサッカー部の紹介DVDで、全県大会における秋田商業高校の撃破や西目高校との死闘の模様とともに、初出場となる「北東北インターハイ」への意気込みなどが紹介された。「南翔の集い」が開催された時点では、すでに、インターハイは結果が出ており、出席者の中のサッカー部OBから、「いい経験になった」、「よく頑張った」、「仕事休んで見に行ったぞ」などの声援も飛び交っていた。そうした中で、あるバスケット部OBの「このインターハイには、男子バスケット部も初出場するはずだったんだ」と、その時の試合を思い出し、悔しい思いとサッカー部がうらやましいという思いを日本酒にぶつけていた姿もまた印象的であった（バスケット部は、インターハイの代表決定戦で、秋田西高校に試合終了10数



大いに盛り上る

① 北日本コンピューターサービス株式会社
代表取締役 江 畑 佳 明
第17期D組卒

URL : <http://www.kitacom.co.jp>
本社 : 〒010-0013
秋田市南通築地15番32号
TEL : 018(834)1811
FAX : 018(834)1815
関東支社 関西支社 九州営業所

2010年10月
OPEN!
Welcome

毎日が同窓会♪

104
snack

皆様が集い、楽しく過せるお店です。
明朗会計ですので、お気軽に越しください。

豊 嶋 孝 吉 (9期卒)
秋田市大町五丁目4-27
第一会館本館右隣 金忠ビル1F
TEL 018-866-2290

I C T お客様の未来を応援
spirit of innovation

株式会社北都情報システムズ

代表取締役 菅原 晟 (第1期F組卒)
取締役 金澤 邦雄 (第14期I組卒)
他卒業生22名

〒010-0951 秋田市山王三丁目4番23号
TEL : 018-833-0200 FAX : 018-833-0209
<http://www.hjs.co.jp/>



校歌斎唱

秒前までリードしていた)。

かつての「秋南の若人」が、それぞれあの頃の「秋南の若人」に立ち戻って、屈託なく笑う。まるでタイムスリップ空間が会場内にいくつも出現したような、不思議な時間がそこにあった。母校を巣立って以来、久しぶりに会うことができた数々の友人たちと、再会までのブランクを埋めるのに十分な料理とアルコールを楽しみ、会場全体が終始和気あいあいとしたムードで、あっという間に時間が過ぎていく。

懇親会の終盤は、だれかれに関わらずお酌をし合い、「髪の毛が・・・」、「いや老眼が・・・」などの話題にも立ち及ぶ。懇親会終了後の2次会の予約を始める者もちろんと目立ってきた頃、司会者から、「南翔の集い」の引き継ぎ式を行う旨のアナウンスがあり、少し残念そうな表情を浮かべながら、それぞれが皆所定の席に戻る。司会者の合図により、前出の小林治男氏から次回実行委員会の熊谷隆益氏(5期)へ資料の引き渡しが行われ、「今年のように、来年もしっかりやりたい」と宣言し、会場からは盛大な拍手が送られた。

引き続いて、「校歌斎唱」。やはり、司会者に促され、かつて応援団に所属していたことのある参加者が壇上に向かう。21期の元応援団長である藤村貴氏が、壇上から会場にいる全員に向けて「フレーフレー秋南」と力強くエールを送ったが、その声量は、現役時代に勝るとも劣らない立派なエールだった。そのまま会場全体で校歌を合唱し、「第1番」を歌い上げたところで盛大な拍手が起り、校歌の合唱もたまにはいいもんだ、と思っていたところに、今度は、来賓である野口養吉先生が、ビールグラス片手に校歌第2番を「独唱」。若干ふらつきながらも見事に歌いきり、またしても盛

大な拍手が起り、会場の雰囲気は最高潮に達した。

本当に素晴らしい同窓会であり、開催のための様々な御準備をしていただいた秋田南高校同窓会役員の皆様、及び第4回「南翔の集い」実行委員会の皆様の御苦労に心からの「感謝」の意を表したい。

前出の5期代表の熊谷隆益氏の中締めの乾杯の発声で大いに盛り上がった第4回「南翔の集い」は、名残惜しい空気を残しつつの終宴となった。

(17期 佐藤和彦)



元気な野口先生

〈式次第〉

1. 開会のことば
2. 黙祷
3. 同窓会会长挨拶
4. 学校長挨拶
5. 来賓ご紹介
6. 実行委員長挨拶
7. 乾杯
8. 野球部DVD上映
9. 歓談
10. 2011年度
「南翔の集い」引継ぎ式
11. 校歌斎唱
12. 一本締め
13. 閉会のことば

秋田諸越粉 蕎子種一式 そば粉製造元
株式会社 富山製粉所

代表取締役 畠山佳男
第19期F組卒

〒010-0942 秋田市川尻大川町12-58
電話 018(862)4858・FAX 018(862)8717
E-mail seifun@cna.ne.jp

kosharu Mise
Hand Made Jewelry Shinoda

代表 篠田 大祐 (26期)

こしゃる店 篠田宝飾
〒010-0911
秋田市保戸野すわ町8-12
TEL: 018-823-8081
営業時間: 9:30~19:00
(祝日17:30まで) 日曜定休
こしゃる店 検索

レーザー切断加工・総合金属板金加工
A 有限会社 アキラ製作所

代表取締役 林 勇一
第24期C組卒

〒010-1941
秋田市川尻町字大川反170-34 秋田市工業団地(協)内
TEL: (018) 823-2432 FAX: (018) 864-4264
URL: http://www.akira-ss.co.jp/ E-mail: info@akira-ss.co.jp

同窓会総会報告

平成23年度同窓会総会が6月18日（土曜日）午後6時から秋田パークホテルで開催されました。学校側から、南高校OBでもあります櫻田博憲氏（14期）、湯澤寛氏（18期）、高橋政晶氏（18期）3名のご出席をいただきました。総会の議案につきましては、22年度事業報告並びに収支決算報告、会計監査報告、23年度事業計画（案）、収支予算（案）を審議し、満場一致で可決承認されました。引き続き役員改選が行われ、次の通り可決承認されました。

会長 菅原 晟（1期）
 副会長 山岡緑三郎（3期）・石塚 幹夫（6期）
 加藤 寛（9期）・江畠 佳明（17期）
 監事 大窪天三幸（2期）・中川 勉（3期）
 鎌田 宣男（10期）

来年の南高校創立50周年に向けて一層のご活躍を期待しております。

各部会からの報告で申し添えることが2つございます。渉外部会から平成22年5月27日歯科医師支部発起会があつたこと。総務部会から平成23年7月8日南高OB講演会が9期の漫画家倉田よしみ氏を講師として行われたことの報告がありました。私の大好きな“味いちもんめ”の作者で、もちろん聴講して参りました。

2011 第19回 秋田県高校OB 対抗ゴルフ大会で栄冠!!

第19回を迎えたこの大会は、夏晴れの8月20日、秋田カントリークラブで1チーム3名編成で49チームが母校の栄誉をかけて行われた。昨年はスクラッチ優勝はしたものの、惜しくも総合優勝を逃した南高校からは過去最高の精銳12チームが参戦した。

表彰式で次々と発表される順位。既にスクラッチの団体優勝は南高校Bチームが獲得。総合の順位に固唾をのむ。結果、南高校Bチームはスクラッチ優勝と共に、総合優勝にも輝き、13年振り2度目となる完全優勝を果たした。主な成績は次の通り。（）は卒業期。BGはベストグロス賞。

◎団体戦

優勝 Bチーム 佐藤竹昭(5)、相場利治(5)、川合俊昭(5)
 ネット213.2



新会長あいさつ

題名は『夢を持つことの意味』で「夢をどこまでやれるのか。一生懸命やっていれば何かまた違うものが見えてくる。出会い、感性、表現」、印象に残った言葉です。

さて総会終了後懇親会に移り、新会長の挨拶、そして乾杯のあと久々に顔を合わせる先輩後輩の和やかな談笑となりました。特に今年剣道最高位8段になられ、新聞テレビで時の人となった湯澤先生の席はお祝いの言葉でいっぱいでした。また今年4月の県議選で初当選された13期三浦茂人氏、27期沼谷純氏も出席され、座が一層盛り上りました。ご両人は銀行や県職員を辞して戦い抜いた秋田のホープです。おめでとうございます。いつものことながら、あっという間に中締めとなり、恒例の校歌を声高らかに齊唱し、盛会裡のうちに終了しました。

（2期 保坂タツ子）

3位 Dチーム 近江則夫(5)、斎藤康秀(5)、森本大治(9)
 5位 Iチーム 荒川滋(22)、吉田喜継(23)、森川洋平(25)
 スクラッチ優勝 南高校Bチーム(前出) 3名 合計249

◎個人戦

太平山コース 第2位 渡辺武博(4)、BG 渡辺武博 76
 日本海コース 第2位 石田隆一(21)、第3位 小笠原和則(19)
 BG 石田隆一(74)
 鳥海山コース 第2位 川合 俊昭



36人の団結で
勝ち取った優勝。
勝利の校歌を全員が歌う。

表彰式の最後には恒例の優勝チームの校歌斉唱が許される。南高校12チーム全員が表彰台に上がり、佐藤隆氏(5)の即席応援団長？のエールと共に、全県下の高校OBの前で校歌を高らかに歌い上げ、会場からは大きな祝福の拍手が沸き起こった。（5期 川合 俊昭）

～自然を大切に～
山岡工業株式会社
yamaoka

代表取締役 山岡 緑三郎
 第3期C組卒

本社／〒010-1415
 秋田市御所野湯本二丁目1-5
 TEL 018(826)1616
 FAX 018(826)1565
 営業所／北秋田市・横手市・仙北市
<http://www.yamaoka-ind.co.jp/>

高精度、高強度、高耐久
アトランガルーム

ふれあう心で家づくり
株式会社 吉兆ホーム

代表取締役 吉田一生(13・F)
 秋田市泉北3丁目4-5
 TEL (018) 866-9280
 FAX (018) 866-9316

～秋田駅とともに100余年～

関根屋

代表取締役 金子達也
 25期J組卒

秋田市東通一丁目1番26号
 ☎018-833-6461 FAX018-831-4062

母校だより

運動部活動

硬式野球部

第93回全国高等学校野球選手権大会秋田県大会
3回戦敗退(3-5金足農)

全県高校総体

・陸上

男子	混成競技	1位	市川裕貴
	110mH	3位	市川裕貴
	400mH	5位	鈴木涼
	やり投げ	6位	米塚将希
	400mリレー	3位	
女子	400m	4位	加藤かあら
	400m	6位	今野知佳
	800m	3位	加藤かあら

・サッカー 準優勝

・水泳(東北高校選手権出場)

男子

100m平泳ぎ	1位	田口稔基	6位	蓮沼太郎
200m平泳ぎ	1位	田口稔基	5位	蓮沼太郎
200mバタフライ	3位	佐藤公哉	7位	相原康志
400m自由形	5位	佐藤公哉	6位	佐藤徳彦
1500m自由形	4位	佐藤徳彦		
400mリレー	4位			
800mリレー	4位			
400mメドレーリレー	2位			

女子

50m自由形	5位	後藤早美	6位	蓮沼太郎
100m自由形	5位	井上未来	8位	大友南海
200m自由形	2位	井上未来	8位	大友南海
400mリレー	5位			
400mメドレーリレー	7位			

・剣道

男子団体	3位		
個人	2位	木村光佑、3位	古井海修
	5位	菅原雅明	

女子団体	2位	(東北高校選手権出場)	
個人	3位	木村早希、5位	斎藤優佳

・バスケットボール

・バレーボール 男子 ベスト8(準々決勝0-2雄物川)

・アーチェリー

男子	1位	後藤 貴文、2位	前田 好輝
	3位	伊藤 雅熙	
女子	1位	谷貝 里奈、2位	佐竹 咲希
	3位	大場 梨子	

・フェンシング

男子個人	フルーレ	準優勝	仙葉 恭輔
	サーブル	優勝	仙葉 恭輔

・ラグビー(秋田高校と合同編成)

ベスト4(3位決定戦24-26金足農)

・バトミントン

男子	ダブルス	3回戦敗退	佐藤・小助川
女子	ダブルス	3回戦敗退	伊藤・田中

・ソフトテニス

男子団体	3回戦敗退(0-2大館工)		
	ダブルス	3回戦敗退	草薙・菊池
女子団体	3回戦敗退(1-2角館南)		

東北高校選手権

・剣道

男子団体	ベスト8		
個人	ベスト8	木村 光佑	

・アーチェリー

男子団体 決勝ラウンド1回戦敗退

女子団体 ベスト8

・フェンシング 男子個人 フルーレ 優勝 仙葉 恭輔
サーブル ベスト4 仙葉 恭輔

・バスケットボール

・陸上

女子 800m 加藤かあら

県民体育大会

・陸上

男子	100mH	1位	鈴木 景
	400m	3位	藤峯 立志
女子	400m	3位	加藤かあら
	800m	1位	加藤かあら

・剣道

男子個人 1位 木村光佑、2位 古井海修
3位 古井岳盛

剣道優秀選手賞 古井海修、斎藤優佳

・ラグビー

・アーチェリー

男子 1位 阿部良祐、2位 糸山裕輝
3位 田口雄大

女子 1位 伊藤日南、2位 佐野友香
3位 国沢明日香

インターハイ「熱戦再来 北東北総体」

・サッカー

1回戦敗退

・剣道

男子個人 2回戦敗退 木村光佑

・アーチェリー

・男子団体

・個人

予選敗退 福田慶生、前田好輝、伊藤将熙

女子団体 予選敗退 佐竹咲希、谷貝里奈

個人 予選敗退 大場梨子、水野美菜

・フェンシング

・男子個人

・フルーレ

・サーブル

・予選トーナメント2回戦敗退

・仙葉 恭輔

・仙葉 恭輔

文化部活動

・書道部

第29回全県高校席書大会

1等	加藤 菜美、柴橋 知里
2等	大友 美鈴、佐藤麻理恵、田口 実季
2等	佐々木琴瑞、濱野 拓哉

・吹奏楽部

全日本吹奏楽コンクール第53回秋田県大会

特別演奏
(全国大会3年連続出場のため今年度出場不可)

・写真部

第33回秋田県高等学校写真連盟展

入賞 石川 皓太、佳作 田村 萌依

・生物部

齊藤憲三章会

研究助成奨励賞 銅賞

第52回植物生理学会仙台大会

優秀賞 松本 唯、佐藤 菜々、佐藤 康平

第1回高校生バイオサミットin鶴岡

審査員特別賞 松本 唯

・文芸部

第35回全国高等学校総合文化祭

文芸短歌部門 出場

・美術部

第57回秋田県高等学校総合体育大会プログラム表紙

佐藤香穂里 " 連盟誌表紙 渡部 緹乃

第31回全国国際教育研究大会英語弁論大会東北地区代表選考会

優秀賞 石塚ちとせ

いけばな教室

(財)小原流

一級家元教授

速水 整子

2期C組卒

秋田市手形からみでん3-67

☎018-832-1531

企業経営のパートナー

川村行政書士事務所

所長 川村 良喜

第4期A組卒

秋田市泉中央六丁目5番18号

シャロム泉1F

TEL 824-8171 FAX 865-5383

税務のご相談は……

宇佐見康伸税理士事務所

税理士 宇佐見 康伸(4・A)

事務所／秋田市中通五丁目6-33

☎018-832-8045

創立50周年記念事業について

前号の母校創立50周年に関する寄稿で、創立50周年を機に南高校の将来像を考えるキーワードとして「独立自尊」「青年の夢を育てる」に加えて信太四郎初代校長が描いていた学校像をもとに「研究者が育つ学校」としましたが、正しくは「学者の出る学校」です。

岸信夫先生から誤りのご指摘をいただきましたのでここに訂正させていただきたい。

昨年の南翔の集いで岸先生から信太校長の描いていた学校像を聴いたとき私の勝手な思い込みから今日までの産業技術の発展から「学者」をイノベーションをリードする「研究者」にフォーカスしたのが間違いでいた。

学校はバラエティに富んだ人材を育成する場です。

岸先生からは、信太校長には時代と共にその評価も変わる政治家より永遠の真理に奉仕する学者をという深い思いが「学者の出る学校」という発言になったのではと教えていただきました。

さて、創立50周年記念事業は、皆に夢を与える高校の将来に夢を繋ぎ、その夢を繋ぐのは在校生であると同時に卒業生も担うそんな記念事業を目指したいと思っています。

それでは、記念事業についてこれまでに決まったこと、方向性をお知らせいたします。

1 記念式典 平成24年10月5日(金)

午後1時

会場 秋田県民会館

2 同祝賀会 同日 秋田ビューホテル



ご縁があって、本年度から歴史ある「南翔」の担当を命じられました。思えば昭和56年の卒業以降、長女の入学式で校門をくぐるまでの四半世紀の間に、母校を訪れたのが剣道場の道場開きの時に1回あるのみ。無論、同窓会活動にも縁が無かった不届きものにとって、今回の大役は、些か荷が重い。とは言っても、母校の栄光と同窓会の栄誉のために、微力ながら汗をかかせていただきます。本号は、節目となる第55号です。手順が全く分からない私を除

3 記念事業 在校生のみならず卒業生・OBが参画、参加出来る記念事業に

(1) 招待試合

硬式野球 平成24年6月29日(金)

秋田県立野球場(こまち球場)

剣道 同上

秋田南高校体育館

(2) 50周年記念曲

11期卒業生で世界的に活躍している作曲家・

天野正道氏に委嘱

(3) シンボルキャラクター

9期卒業生で漫画家倉田芳美氏に依頼

(4) 記念講演

50周年記念にふさわしい方を講師にと実行委員会で相談している

4 記念誌 40周年以降の10年間を中心に、50年間の概要をまとめる(基本方針)

5 特別記念事業 校訓「独立自尊」碑建立ほか

これまで母校の各周年記念には同窓会からは教育環境整備等に格別のご協力をいたしました。50周年でも同窓会からは校訓碑建立を始めとする特別記念事業を期待しています。

(5期 鈴木 力雄 記)



き、今回も2期の保坂さん、4期の熊谷さんを中心とする、これまで南翔の屋台骨を支えてくださった先輩諸兄のお陰で、無事に発行することができました。皆さまには心から感謝申し上げます。母校も来年いよいよ50周年を迎えます。会報等情報発信役に課せられた使命を全うすべく、ことに当たって参りますので、よろしくお願い申し上げます。

(17期 江畠 佳明)

同窓会
事務局

〒010-1437 秋田市仁井田緑町4の1
秋田県立秋田南高校内
電話 018-833-7431

'Be a blast of wind'
厚生ビル管理株式会社
株式会社 光風舎

代表取締役社長 加藤 寛
第9期E組卒

〒010-0911 秋田市保戸野すわ町6番16号
TEL 018(823)4061
FAX 018(823)4074
E-mail : kosei@kosei-buil.co.jp


ソフトウェアの受託開発
ホームページ作成

株式会社 エイチ・アイ・ティ

Human Interface Technology

代表取締役	川合 俊昭	5期E組卒
システム部課長	藤井 宗則	22期H組卒
システム部	瀬川 邦好	23期G組卒
総務部	渋谷 曜子	31期J組卒

〒010-1623 秋田市新屋町砂奴寄4-11
秋田県工業技術センター内
TEL 018-895-5515 FAX 018-895-5516

今時代は電子書籍

iPad/iPhone用書籍アプリ制作・販売代行

株式会社 **くまがい印刷**

代表取締役 熊谷 正司(4・A)

秋田市中通六丁目4-21
018(833)2220(代) FAX(833)6732